

「エレキパドルキットの製作&CW入門」

平成 27 年 10 月 18 日（日）糸魚川ビーチホールまがたま

講師：JE0KBP 井澤和秀

モールス電信技能認定電信総合 1 級

（合格番号 第 FA172 号）

第 1 部「製作」

組み立てマニュアルを見ながら、組み立てていってください。

マニュアルの写真が小さくて見にくいので、私が製作済みのものを参考にしたり、プロジェクターで映っているものを拡大してみたりしてください。

（注意する点）

- ① 保護紙をむいてから側面を付属のペーパーで磨く。
- ② 2mm の配線をカッターで切り出す時、切り落とさないこと
- ③ 3.5mm ジャックに 2mm の線をはんだづけするところ
- ④ マイクロスイッチの向きに注意
- ⑤ 3.5mm ジャックのネジがぎりぎり
- ⑥ ネジが小さいので無くさないように慎重に
- ⑦ パドル板の調整。これが一番難しい。端子同士のハンダ付けは温めてからハンダを盛る。マイクロスイッチは加工してあるのであまり強い力を加えると壊れます。
- ⑧ パドルは固定しないと使いにくいです。私は「車の隠しキーボックス（強力磁石でリグやスチール机に止める）」にネジ止めしましたが、色々工夫ができるところです。

第 2 部「CW 入門」

1 CWの魅力

「新しいものに挑戦する気持ちよさ、できた時の喜び」

「10W でも十分交信できる、DX にもよく飛び、よく聞こえる、パイルアップ抜けやすい」

「運用者が多く、移動運用やコンテストで多くの局と交信できる」

「パソコンとの相性がよく、スマートで効率的な運用が可能」

（例）

①新潟コンテスト参加者 電信部門 143 人、電話部門 91 人、電信電話 MIX 部門 63 人

②オール JA コンテスト参加者 電信部門 635 人、電話部門 115 人、MIX724 人

（①②はシングルオペのみ、クラブ局を除く）

DXCC オナーロール（JA） CW 部門 340 人 フォーン部門 340 人 MIX 部門 345 人

【資料 CQ 誌 2015 年 8 月号 36～38 p】

2 CW 符号を覚える

「モールス習得に王道なし」 ～コツコツ練習するしかありません～

「モールス習得に才能の関係なし」 ～できない人はいません～

自転車や九九の練習と同じように最初は手間暇と努力がいりますが、続けていればグンとできる時期が来ます。

(1) 符号を覚えるための送信練習

先ほど作ったパドルをリグにつなぎ、ブレークインをオフにして電波が出ないようにして送信練習をする。

自分のコールサイン、QTH (ITOIGAWA)、名前 (KAZU、AKI など)、その他なんでも。送信は楽しいです。どんどんやりましょう、

(2) 符号を覚えるための受信練習

① 楽しい練習

VADRUM morse (ユーチューブ動画をプロジェクターで流しますのでご覧ください)

② パソコンの無料ソフトを利用した練習

A1A Breaker (ソフトの使用方法をプロジェクターで流しますのでご覧ください)

よく出来たソフトなのでパソコンの音を聞きながら、ノートに書くだけで必ず上達する。

LearningMorse (ソフトの使用方法をプロジェクターで流しますのでご覧ください)

ABCDE など 5 文字ずつ順番やランダムに練習する。書き取って答え合わせをする。

※資料 p40 にあるように、送信はどんどん上達するが、受信はプラトー現象やスランプ期があり、停滞する。誰にもあることなので、ここであきらめないこと。

※モールス信号を聞き流すだけでは受信能力は上がりません。車でテープを聞いているだけでなく、ノートに書く段階を踏まないとダメです。

【資料 CQ 誌 2015 年 8 月号 38~40 p】

(3) 実践練習

☆とにかく交信してみる。土曜日、日曜日、祝日等の 7MHz (7.010 付近) で、移動運用をしている局がねらい目。

① CQ を出している局を何回も聴いてコールサインをとる。

② 自分のコールサインを送信する。(例 DE JE0KBP K)

③ 相手から自分のコールサイン (速くても自分のは結構分かるものです) と 5 9 9 のレポートをもらう。

④ 5 9 9 BK と打つ

⑤ 相手から TU E E と打って来ると思うので、こちらも同じように打つ。

⑥ これで終わり。これ以上いろいろ打ってきても、無視して 599 だけを打つ。

☆ラバースタンプ QSO をする。

相手の JCC、NAME、WX、QSL などの情報を送受信する。

【資料 CQ 誌 2015 年 8 月号 40~43 p】

20 年分の CQ 誌から電信特集を見ましたが、8 月号が最も分かりやすく、ユーチューブやパソコンソフトを活用した効率のよい練習ができるようです。

第 3 部「パソコンとインターフェイスを活用した CW 運用」

Ctestwin & USBIF4CW を実際に使いながらやってみましょう。